



教わった事

肖 永
XIAO YONG

僕は山一商事株式会社三年目実習生肖永と申します。僕は山一商事の一員として誇りを持って、皆さんに自分の体験を伝えたいと思います。

山一商事株式会社は山菜を中心に加工、製造、販売している食品会社です。口に入る物を作りますので、製造を行っている工場では厳しいルールや心得がきちんと出来ています。

僕は実習生になってから、沢山の仕事をやりこなしてきたので、相当の仕事量が与えられるようになりました。僕が忙しく仕事をやっている最中にも、「床をきれいに流して、箆籠、使った容器をきれいに洗って。」と上司から声が掛かります。「はい、わかりました、すみません。」と口では言いながらも、何かをやっているうちについて忘れてしまうものです。終業後、実習生だけ残業している時に、上司が僕の作業場の床をホースで流したり、箆を洗っている所が偶然目に入りました。最初は「あつまずい、また叱られるよ。」と思って逃げていました。しかし、「叱られても仕方ない、自分の過ちを認めるんだ。」と考え直し、上司の所へ行きました。「いつもすみません、自分でやります。」と言いながら、上司の手からホースを貰いました。上司は僕の行動を見つめながら、「きれいな職場ではいい物を作り出す、これは基本。山菜に対して、物に対して、愛を持ってこそお客様が満足できる製品を作る事が出来るんだ。」そう僕に言い

ました。上司の言っている事に間違いは無いのですが、続けてやっていくのは難しいものです。次の日にもう一度上司に聞きに行きました。上司の答えには心を打たれました。「なぜあなたはお客様が満足できる商品を作りたいのですか？」と聞かれたら私は、我々の手で作った物を日本の普通の食卓に届けることで、お客様から「山一の煮物が美味しいです。いつも山一の商品を使っていて安心しています。」そんな声を聞きたいからだと答えます。従業員としてただ毎日仕事をして、給料を貰っていればそれでいい、ではなくて、常にお客様の立場で考え、安心できる商品を作る事。まず、当たり前的事を当り前にやって、その上にお客様を感動させる事をやる、それは我々の夢だよね。難しいかもしれないけれど、肖永はまず環境整備をきちんとやってね。」その場に居た僕は本当に感動しました。

あれから僕は、やるべき事を当り前のようにやる事を心がけています。お客様を感動させるとまで言えませんが、お客様が安心できる物を作る事に自分力を注ぎたいと思っています。朝の朝礼でも、お客様から届いた感謝の声を聞きたいと思うようになりました。仕事のやりがいも感じ始めました。山一商事は人を育て、夢と生きがいを持って働ける企業を目指す事を経営方針としていますが、僕はその経営方針の中で育てられている事に、今心から感謝しています。

・区 分 技能実習生
・国 籍 中国
・職 種 缶詰巻締
・受入れ企業 山一商事株式会社
・受入れ団体 情報リンク協同組合